



# 立正佼成会ニューヨーク教会

320 East 39<sup>th</sup> Street, New York, NY 10016 TEL: (212) 867-5677

E-mail address: koseiny@aol.com, Website : <http://rk-ny.org>

ニュースレター2021年 1月号



2021年！ 新年明けましておめでとうございます。  
皆様もきっと新たな気持ちで新年を迎えたことと思います。

昨年はコロナ感染症・パンデミックに終始した一年でしたが、その年が開幕した1月には誰もが予想しえなかった事態へと展開し、いまだその猛威は続きそれに伴う様々な社会的影響も数知れません。  
その中であって私たちの新しい生活様式や気付きも多くあり、その継続としての一年が始まりました。私たちは昨年からの大きな変化にめげることなく新たな一步を踏み出す心意気をもって臨みたく思います。

昨年はZOOMを通じてニューヨーク教会のサンガは多くを学び一つになれました。  
その集大成が12月13日のシカゴ支部発足50周年式典だったのではないのでしょうか。国境を越え、州を越え各地から式典に参加でき、多くの皆様の一致協力によりお祝いできたことは大変素晴らしい成果であったと思います。

生命科学の研究によりますと人間の意志や行動は脳だけが司っているのではなく、人体の各器官や細胞がそれぞれに意志や情報を持ちそれを脳に伝え、相互関連の中で身体全体を維持しているとのことです。しかもその器官や細胞は自分の役割を認識し他の器官と協力しあい、常に利他的な働きをして身体のシステムを円滑に働かせているということです。

このことを私たちの社会における個と全体の関係に当てはめてみますと、トップの意志判断だけで動き他はただその指示に従うというのではなく、各役割が常に個々の立場でどうあるべきかを認識しトップとの意思疎通を図りながら前に進むというのが組織の健全なありかただと思います。

今しばらくは続くであろうコロナ禍にあって、私たちは自粛生活を送る中どうしても孤独感、孤立感に陥りがちですが、単にこの状況を受け身的にとらえるのではなく、この時こそ積極的に一人一人が発信者となり他の人々との連携(つながり)を深めてゆくことが大切ではないでしょうか。  
誰かが私に何かをしてくれるのではなく、自らが他に働きかけをするチャレンジの一年にしたいと思います。

以前にも申し上げましたが、人は人との触れ合いの中で幸せを実感できるといいます。握手やハグ、電話で耳にする声、ZOOMを通じて笑顔を交わす瞬間などその時体内にハッピーホルモンといわれるセロトニンが分泌され安心感に満たされ、健康や長寿につながる源になると言われています。

今は直接出会う言葉が交わす状況ではありませんが、電話、手紙、インターネットなど、いろいろな手立てで「惜しみなくつながる」という教団の掲げる目標にむけた一人一人の実践を展開しましょう。

コロナ感染症に対するワクチンも出始め徐々にその接種が進められるでしょうが、長期にわたり危険を冒し尽力してくださっている医療関係の皆様、そして私たちの毎日の生活を支えて下さっている公共機関、エッセイシャルワーカーの皆様にご心より感謝申し上げます。

また、多くの方々が尊い生命をおとされていますが、その方々への追悼を申し上げ、いまだ病床に臥され加療あるいは療養中の皆様の早期ご回復を祈念申し上げます。

昨年はニューヨーク教会において何名かの仲間と悲しいお別れを告げることとなりました。共に開祖さま、会長先生の弟子として修行に励み教会をお支え下さった方々へ心より追悼申し上げ、これからも私たちの精進をお見守りくださるよう念じさせていただきます。

今年はいったいどんな変化が訪れる一年となるでしょうか？

何が起きても心を見失うことなく、皆様と共に感謝の日々を「あかるく、やさしく、温かく」過ごさせていただきます。

皆様、本年もどうかよろしくお願ひ申し上げます！

合掌

RKNY 島山友利

